週間国際経済2016（37）№76　　10/19～10/25　　金俊行（きむじゅねん）

10/19・中国、6.7%成長維持（7-9月）公共投資下支え　＜１＞　＜２＞
「安定」の幻影　過剰設備の削減焦点
公共投資、不動産、借金、減税　習氏主導、深まる依存
・英ポンド安、物価に波及　衣料品や光熱費上昇　＜３＞
実効為替レート最低　インフレ率１％　英中銀、追加緩和にジレンマ
景気対策に金融緩和→ポンド安→高インフレ→低成長
・9月米消費者物価0.3%上昇（前年同月比では1.5%上昇）

10/20・サウジアラビア、海外で初の国債　1.8兆円、新興国で最大規模
「脱・原油」改革　産業育成へ財源確保　原油安での財政赤字補う
・訪日客消費2.9%減（7-9月）4年9カ月ぶり　客数は堅調　＜４＞
・米大統領選、第3回テレビ討論　最後の直接対決「大統領の資質」で応酬　＜５＞
トランプ候補、不法移民の問題強調　クリントン候補、女性の権利保護訴え
・北朝鮮、またミサイル発射失敗　韓国軍が発表

10/21・中国・フィリピン首脳会談（北京、20日）南シナ海「当事国対話で解決」
経済協力2.5兆円　ドゥテルテ氏「米国と決別」　同盟国の混乱深まる
・日銀総裁が追加緩和見送り示唆（衆院委）　物価2%目標「時期修正も」
・シェール生産性2倍　米鉱区、ビッグデータ駆使　30ドル台で採算例も

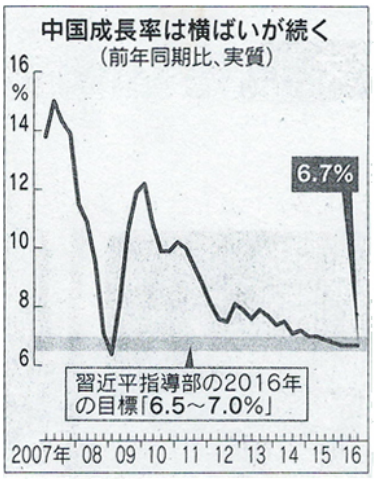
10/22・英離脱、定まらぬ戦略　EU、事前交渉また否定　隔たりなお大きく
EU首脳会議（20、21日ブリュッセル）　EU「通知があるまで交渉しない」
・不動産、離れる海外勢　1-9月売り越し最大の5950億円　価格高止まり

10/23・日本国債、中国の購入急増　1-8月の買越額約9兆円、前年同期の3倍超
米利上げ見越し資金移動　短期債中心に購入、柔軟に資金シフトできる状態に
・ベトナム「対中」再構築　カムラン湾に中国海軍艦艇受け入れ

10/24・貿易黒字、震災前超す4-9月2.4兆円　原油安で輸入額減　＜６＞
輸出額9.9%減、輸入額19.1%減　9月単月の貿易収支は4983億円の黒字に
・中国、6中全会（第18期中央委員会第6回全体会議）開幕　習氏の権力集中焦点

10/25・韓国GDP0.7%増（7-9月）ゼロ%台成長、４四半期連続　＜７＞
・人民元、高値から１割下落　6年ぶり水準
・自民、総裁任期「3期9年」に延長で決着　安倍首相3選に道

<1>



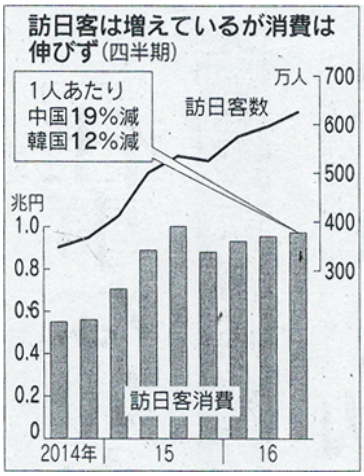
<2>

中国経済は表面上は安定しているが・・・

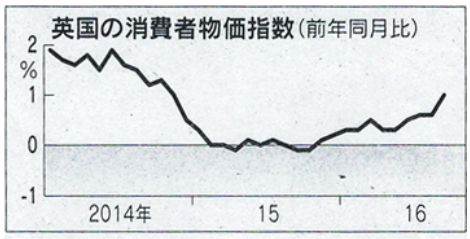
	4～6月		7～9月
実質成長率	6.7%	→	6.7%
2期連続で横ばい。通年目標「6.5～7%」達成の公算大			
	1～6月		1～9月
固定資産投資（うち民間投資）	9.0%（2.8）	↘	8.2%（2.5）
17年ぶり低水準。民間投資振るわず、公共投資を拡大			
小売売上高	10.3%	→	10.4%
減税期限を前にした車の駆け込み需要が押し上げ			
輸出	▲7.7%	→	▲7.5%
改善の兆しがみえず			
工業生産	6.0%	→	6.0%
車や携帯電話が好調			

（注）前年同期比増減率、▲は減少

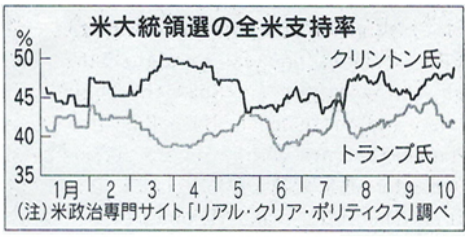
<4>



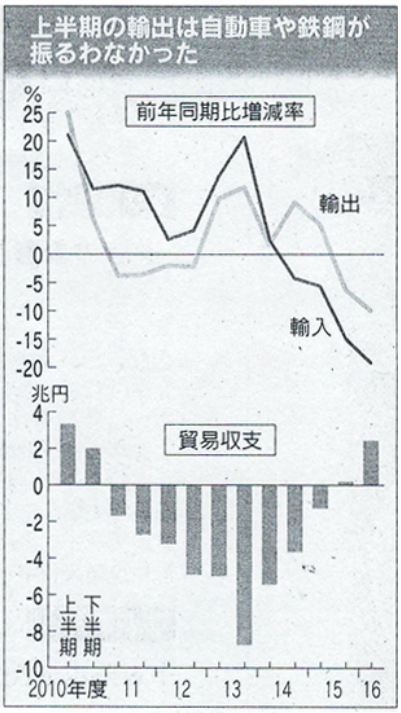
<3>



<5>



<6>



<7>